（第三種郵便物認可）

協和補償コンサルタント

ドローンで3D測量

「富岡製糸場」の煙突対象に

平山代表取締役社長

協和補償コンサルタント（高崎市、平山貴祥代表取締役社長）は2月22日、世界遺産「富岡製糸場の煙突」で初めて、ドローンおよび地上レーザースキャナによる3D測量などを行った。既存の煙突を3D点群データで残す試みや保存修理工事の基礎資料となるひび割れの状況などを調査した。

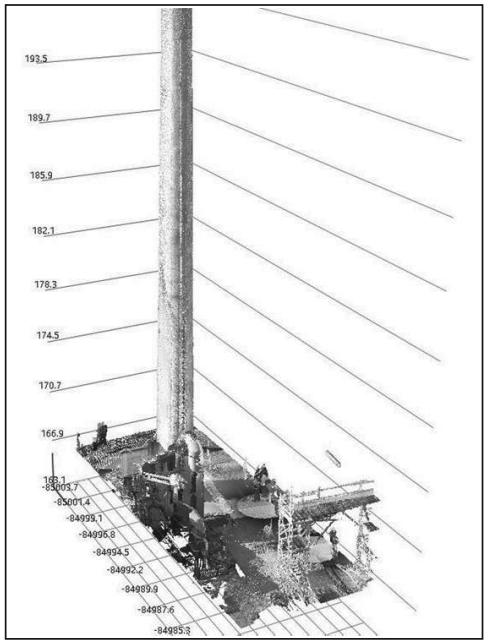
平山代表取締役社長は「世界遺産を後世に残していくために、煙突の3Dデータ化をさせていただいた。3Dの測量や設計などの最新技術を導入していく中、少しでもお役に立てて嬉しい。課題も把握、今後に生かすことができる」と語った。

3D測量では、NTT e-Drone Technology（埼玉県）が協力。ドローンにレーザー測量器とカメラを搭載して、上空80m付近を格子状に飛行。煙突上部と地上からのデータを合わせて形にする。

また、保存修理工事を予定する煙突の基礎資料となるひび割れをドローンで撮影。AIによる画像解析で、ひび割れを赤い線で表示、事前調査を行った。

富岡市世界遺産観光部企画活用係の山口明久課長補佐は「ドローンによる3D測量は初めて。保存活用してく上で、こういうデータは大変重要。非常にありがたい」と述べた。

今回の試みは、砂防堰堤やトンネルなどの土木構造物の維持管理にも活用が可能。最新技術による、3Dデータ化に今後の期待が高まる。



3D点群データ化で、後世に残す

桐生市

提案内容は実現困難

スケートセンター活用案

桐生市はスケートセンター（東7−3−50）の利活用に向けて、サウンディング型市場調査を行っており、1日に結果を公表した。将来的な総合アイスアリーナとしての整備や屋外のスケートボードパーク新設などを内容とした提案が1者からあったが、市の財政負担が大きいために実現は困難とした。

提案された内容は屋外プールに製氷装置を設置し、仮設リンクとして利用するほか、スケートリンク建物を鉄骨と屋根の

小規模工事等登録

22日まで受け付け

沼田市

沼田市は2022～23年度の小規模工事等希望者登録申請を22日まで受け付ける。随時申請は4月1日から受け付ける。

対象となるのは市が発注する小規模な工事や修繕などの中で、履行の確保が容易であると認めら

試算2
24
96
して
整備
00
店、
ことの
札参
ている
滞納
録の
31日
約検
れ1
が1
となる
登